

～地域での支え合いの仕組みづくり

(生活支援体制整備事業) がはじまっています～

私たちが生活支援コーディネーターです!

生活支援コーディネーター 地域通信 第2号

令和5年9月発行



社協・川辺



包括・岸田



包括・平山

生活支援体制整備事業とは：

高齢者が住み慣れた地域で「あんしん」して暮らすための仕組みをつくることを目的として、介護保険法に新しく位置づけされた事業です。「生活支援コーディネーター」を中心に「協議体（話し合いの場）」で地域の現状を「知る」、みんなで「考える」ことを行いながら、支え合いのまちづくりを推進します。



第3層 協議体(小学校区)

小学校区単位ではなじよすっぺ会(福祉情報共有会)がスタートしました!!

◆なじよすっぺ会(福祉情報共有会)とは?

地域の中での困りごと、心配なこと、助け合いや見守り体制について、みんなで話し合う場です。

◆話し合いメンバーは?

地域により多少の違いはありますが、現在は区長、副区長、民生委員、駐在所の警察官、地域支援ネットワークスタッフ、地域で活動しているボランティア、包括、社協等があげられます。

◆話し合う内容は?(一例)

- ・介護保険は使っているけれど、もっと地域との関わりを持ちたい(持った方がいい)方がいるけれど、どうしたら良い?
- ・高齢者のひとり暮らし、見守り体制を作りたいけれど・・・
- ・訪問しても留守、最近なかなか会えなくて心配な方がいる。

◆なじよすっぺ会で出た課題については、関係機関等に繋いだり、足りないものについては地域で新しく立ち上げたりしながら、解決に近づけていけるように対応しています。



坂元地区なじよすっぺ会の様子



山一小学校区なじよすっぺ会の様子



つばめの杜西地区なじよすっぺ会の様子

写真左:坂元小学校区/写真中:山下第一小学校区/写真右:つばめの杜西地区

※地区によっては、小学校区ごとではなく地区単体(つばめ西地区・つばめ東地区等)で情報交換を行っているところもあります。今後も順次行っていく予定です。

～地域にはこんなに良い「つながり」があります～

下郷地区「みずいろサロン」



下郷地区「みずいろサロン」の紹介です。
5月から開催し、初回は「健康講話」で、認知症・転倒・引きこもりなどリスク予防について学びました。2回目は「腹話術」を鑑賞しました。その他、白石市の温麺のルーツを腹話術で表現したものや、実際に人形を使い、腹話術体験も実施しました。介護予防活動ボランティア：アイスマイルによる、フレイル予防の「ロコモ体操」を行う等、盛り沢山です。毎月1回、第4水曜日、午前10時から11時まで、下郷区公会堂で開催中です。

上平地区「さわやかラジオ体操」

上平地区「さわやかラジオ体操」の紹介です。
地域で運動不足が気になると話があり、「ラジオ体操ならだれでも出来るね」と、区長さんはじめ地域の方々の声掛けご協力のもと、ラジオ体操が開催されました。初回、2回と回を重ね、参加者も増えてきています。参加者の体調も考慮しながら、椅子に腰かけた状態の運動も取り入れ、肘・腰・膝など痛みがある部分をさすりながら、柔軟運動やラジオ体操、ロコモ体操も行い、毎月1回、第4木曜日、10時から、上平老人憩いの家で、開催中です。



大平地区「ふれあいサロン」



大平地区「ふれあいサロン」の紹介です。
地域の方々の交流の場として、気軽に集える居心地の良い場を目指し、心と体の健康に繋がる様な活動をスタッフと地域住民皆さんで作り上げていくことが目標です。タオルダンベルや小物づくり、輪投げ、カラオケ、山元すごろくや、季節に応じたイベントも取り入れ、お茶やお菓子を頂きながら、脳トレやフレイル予防も一緒に実施しています。大平地区の食生活改善推進員の皆さんが支援を行い、コロナ禍で集うのが大変な時も、検温・消毒を徹底し、毎月第1土曜日午前10時から大平生活センターで、開催中です。

